

## 第481回番組審議会

1. 日 時 平成24年12月18日(火) 午後4時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 12名

出席委員 8名

委員 長	望月 善次
委員	坂本 修
委員	柴田 和子
委員	池田 克典
委員	吉江 信博
委員	鈴木 正之
委員	遠藤 雅也
委員	國分 正人

欠席委員 4名

副委員 長	福田 泰司
委員	平 英一
委員	村川 健一
委員	千葉 隆史

社側出席者

檜崎 憲二 (代表取締役社長)  
矢後 勝洋 (特別顧問)  
山口 英二 (常務取締役)  
淵沢 行則 (取締役報道制作局長)

事務局

遠藤 隆 (編成技術局長)  
畠 義真 (編成技術局次長)  
平山 亜希子 (編成技術局編成部主任)

4. 議 題

1. 今年1年の番組を振り返って
2. その他

5. 資 料

資料として以下のものを配布  
視聴者からのご意見

## 6. 意見

### 委員側意見

- 陸前高田の「けんか七夕」の復活を取り上げた 1 時間番組が印象に残っている。丁寧な作りでまた見たい。
- 1年間の番組リストを見てみると、スポーツ、文化、自然、震災復興と、バランスのとれた番組作りをしている。レギュラー番組もいい印象で、5 きげんテレビなどはバラエティに富んだ地域情報がいっている。
- 団塊世代のセカンドライフなど、新しい市場も生まれているので、そういう取材もしてほしい。また、県外に人口が流出していて、これからどういう形になるのか、街づくりなど番組作りをしてもらえればと思う。
- 震災復興に寄与することに貫かれている。ガンライザーとか、子供達に人気を呼ぶものに挑戦する意欲も素晴らしいし、着眼にも意欲を感じる。政治経済科学など堅い話の特集があると局全体の注目があがりオピニオンリーダーとなる。
- 6 月から「ONE」は一生懸命な方がたを取り上げ、支援活動を取り上げていてよかったが、表面的なものが多くて心に訴えるものがなく残念だった。
- 岩手県の科学番組を取り上げてやってほしい。宮澤賢治の岩石研究、北上高地、岩手出身の科学者を取り上げてほしい。
- 地方局の良さをうまく生かしている。定点観測してそのファイルの積み重ねを生かしている。ニュースプラス1いわての「被災地は今」というシリーズ、過去の映像に加え復興に向け前向きに頑張っている姿をとらえている。
- テレビ岩手の「顔」という番組をもっているのがつよいところ。続けていくのは大変難しいことで、マンネリ化に陥らず、新鮮さを保つこと、なんとかがんばってもらいたい。
- 震災復興を中心とする基本線が守られている。これからどうなるのか。関西でとくに風化を聞くので、工夫がいると思う。

### テレビ岩手側意見

- 震災復興が今年の柱。ニュースは毎日半分被災地のニュースをやっている。毎月 1 回放送の「ONE!」という番組、「けんか七夕」など被災地をみつめて被災された方々とともに地域の今後を考える姿勢を出してきた。
- 平泉の次は御所野の縄文遺跡、釜石の近代遺産なども世界遺産案件にかかっていますので、こういったこともさらに取材していきたい。
- 「らどんぱ!」の「鉄神ガンライザー」のような、新ジャンルにも挑戦し、ヒーローものを開拓、番組を中心に、イベント、握手会など関連グッズの展開も人気出ている。
- 1月に「イズム」をやりましたが、地域に対してスポーツというのは即効的な元気を与える。年間通じて多数つくりたい。
- テレビ局は地域社会から大きな期待をされていると感じて、がんばっていききたいとおもっている。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

・自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

平成 24 年 12 月 25 日(火) (午前 11 時 45 分～11 時 52 分放送) で、審議の概要を放送。

・支社・支局に議事録を設置

・当社のインターネットのホームページで議事録を公開